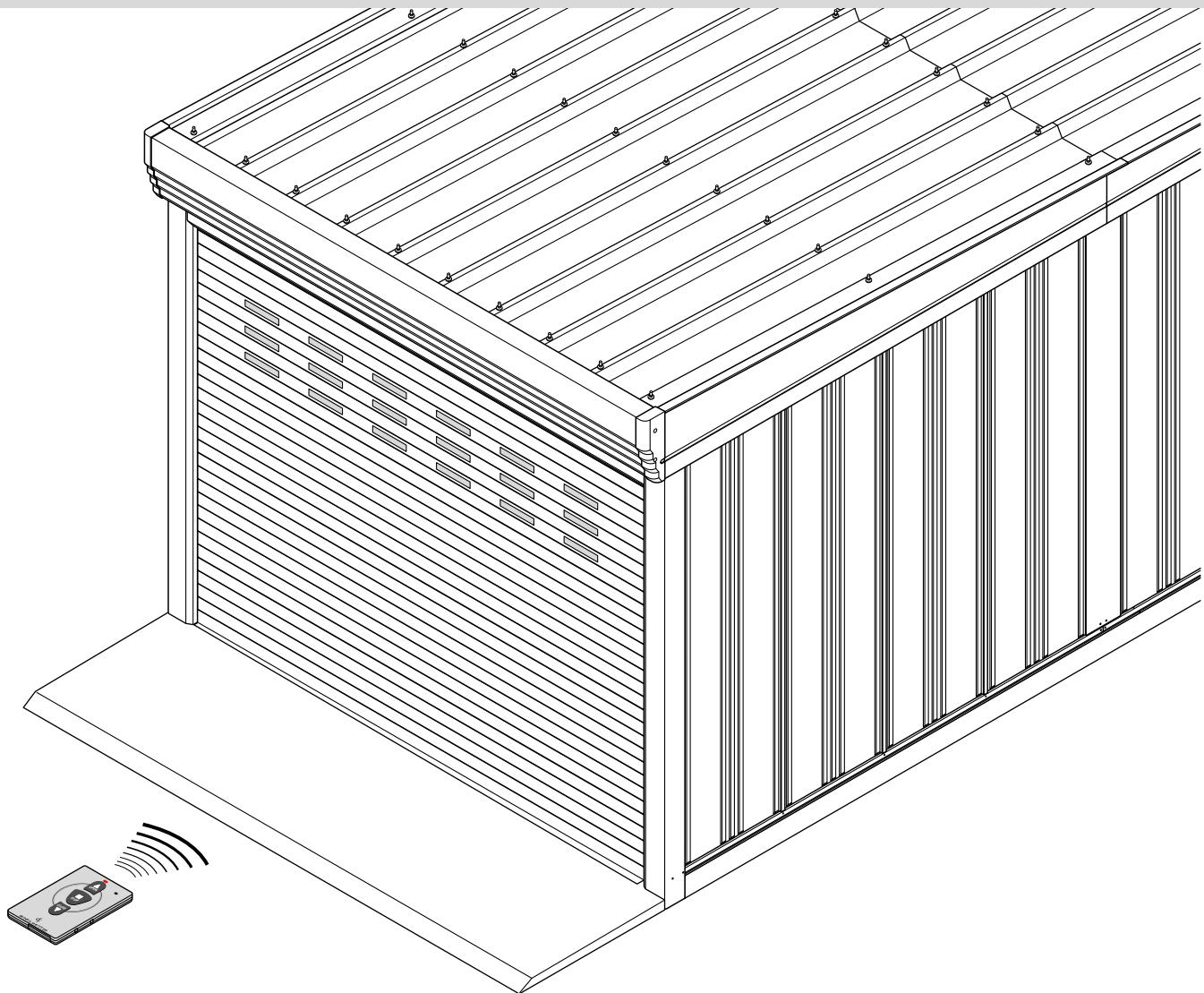


タクボガレージ カールフォーマ専用オプション 組立説明書・取扱説明書

電動巻取シャッター

2タッチ操作仕様

組立前に必ずお読みください



- ・お買い上げありがとうございます。
 - ・この説明書をよくお読みのうえ、正しく組み立ててご使用ください。
 - ・特に『正しい使い方とお願い』『使用上のご注意』をよくご覧ください。
- ※施工業者様へ：組立完成後、この組立説明書は必ずお客様へお渡しください。

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

もくじ

正しい使い方とお願ひ	3
使用上のご注意	4
概観図・ガイドレール寸法図	5
電気供給について	6
電動巻取シャッターの取付け	7
ガイドレール・ホイルカバーの取付け	9
電源の接続と手動切替ワイヤーの取付け	10
手動・電動の切替え方法	11
上下限リミット（停止位置）の設定	12
障害物感知装置の動作確認とその他の操作方法	14
（オプション）リモコン送信機の追加登録	15
リモコン送信機（10コード）の抹消方法	16
リモコン送信機（10コード）の管理表	18
故障かなと思ったら	19
タクボ製品についてのお問い合わせ	裏表紙

1. 正しい使い方とお願い

このたびは、電動巻取シャッターをお買上げいただき、誠にありがとうございます。
本品を正しく安全にご使用いただく為に、よくお読みいただきますよう、お願い申し上げます。

【1】リモコン送信機の操作距離について

操作距離は10m～50mにセットされています。ガレージの設置条件によっては、操作距離が多少異なる場合があります。テレビ・ラジオの送信所近辺などの強電界地域でリモコン送信機を使用した場合、操作距離が短くなったり、正常に動作しないことがあります。

【2】シャッターの開閉について

リモコン送信機をポケットなどに入れて携帯されると何かの拍子に誤ってボタンを押し、意図せずシャッターを動作させてしまう可能性があるため、「ボタン2回押し」の仕様になっています。

【開ける時】STOP（とまる）を押して3秒以内にOPEN（あける）を押してください。

【閉める時】STOP（とまる）を押して3秒以内にCLOSE（しめる）を押してください。

リモコン送信機のボタンを軽く1秒ほど押せば反応します。

【3】障害物感知装置について

シャッターが閉まっている途中で障害物と接触した場合、反転するように設計されています。ただし、上限から約300mm降下するまでの間は感知できません。また、開閉操作開始から1秒間（モーターの回転が安定するまでの間）は、負荷感知機能は働きません。

【4】作動中にシャッターを一時停止させたい時は

シャッターが開いている途中で、リモコン送信機のSTOPボタンを押してください。シャッターは、その位置で停止します。シャッターが閉まっている途中でリモコン送信機のSTOPボタンを押せば、シャッターは、その位置で停止します。停止後、STOP（とまる）を押して3秒以内に「OPEN」または「CLOSE」ボタンの操作でシャッターは開閉します。

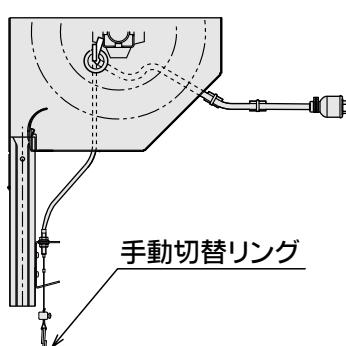
【5】シャッターの施錠について

電動巻取シャッターは自動的にロックした状態になりますので、施錠の必要はありません。ただし、手動に切り替えた場合はロックしません。

【6】停電や故障の時について

停電などの理由でリモコン送信機でシャッターの開閉ができない時は、手動に切り替えて開閉することができます。（右図）

停電が復帰したら「電動」へ切り替えて、いちどシャッターを上限停止位置まで動かしてください。（※ブザーがなります）



手動切替リングを引っ張って
ワイヤーのカシメ部の引っか
ける場所を移動するこ
で
切り替えができます。
詳しくはP11をご覧ください。

【7】リモコン送信機と受信機

リモコン送信機と受信機（本体に組み込んでいます）は、両方で1セットになっています。特にリモコン送信機は、手で操作する時に落としてショックをあたえたり、水に濡らしたりしないようご注意ください。

【8】連続運転について

この電動巻取シャッターは、一般家庭用電力使用の小型モーターを使用していますので、シャッターの開閉を連続で行わないようにしてください。モーターが過熱したりしてトラブルの原因になります。

（もし過熱した場合、安全装置が作動して停止し、モーターが冷えるまで電動での操作ができなくなります。）

【9】リモコン送信機の電池交換方法

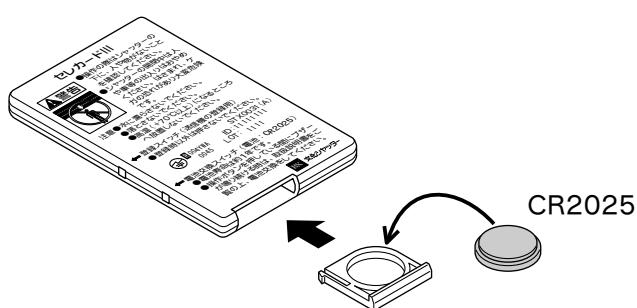
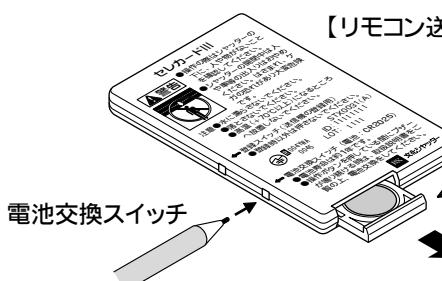
電池は通常1年を目安に交換してください。電池容量が低下すると、スイッチを押している間「ピッピッピッピッ」という音が鳴り続けます。（付属の電池は作動確認用です。寿命が短い場合がありますが、ご容赦ください。）

① 交換用の電池を用意します。（コイン型リチウム電池：CR2025 × 1個）

② 側面の「電池交換スイッチ」をボールペン等の先で
押すと「電池ケース」がスライドします。

「電池ケース」をリモコン送信機から引き出してください。

③ 新しい電池と交換して「電池ケース」を元に戻して
ください。電池の+マークは下になります。



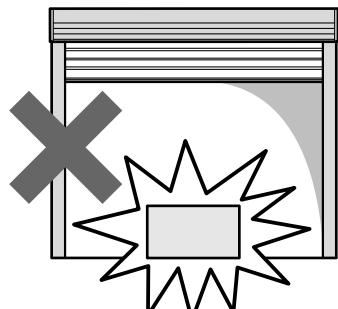
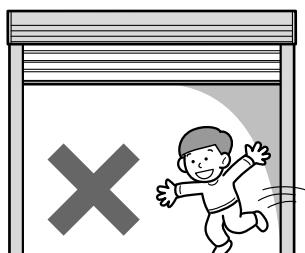
2. 使用上のご注意

【1】シャッターの開閉は必ずシャッターが見える所から行ってください。

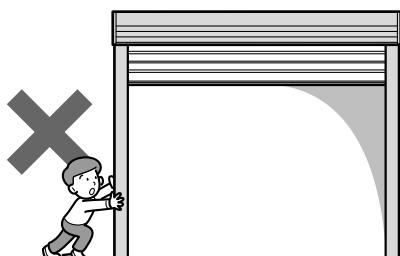
シャッターの開閉操作中に人や物に当たると、安全装置が作動して止まりますが、事故や故障の原因となり危険ですので特にご注意ください。

【2】閉まりかけているシャッターの下に走り込まないようにしてください。

又、シャッターの下に物を置かないでください。



【3】シャッターのまわりで子供やペットを遊ばせないようにしてください。



【4】リモコン送信機を子供のおもちゃにさせないでください。

モーターの過熱や故障の原因になります。

【5】過度の連続操作はさけてください。

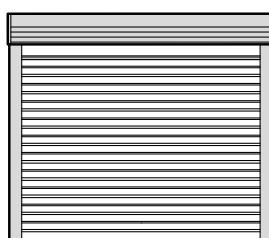
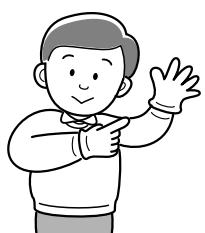
【6】障害物感知装置を定期的に点検してください。

シャッターが閉まる時、片手で軽くささえて止まるぐらいが理想です。

【7】自動的に開閉しますが、もっと早く閉めるために強制的におろすことはしないでください。 また、開く時も同じです。

【8】お手入れの際は、製品の切り口などで手を切る恐れがありますので、必ず手袋を着用してください。

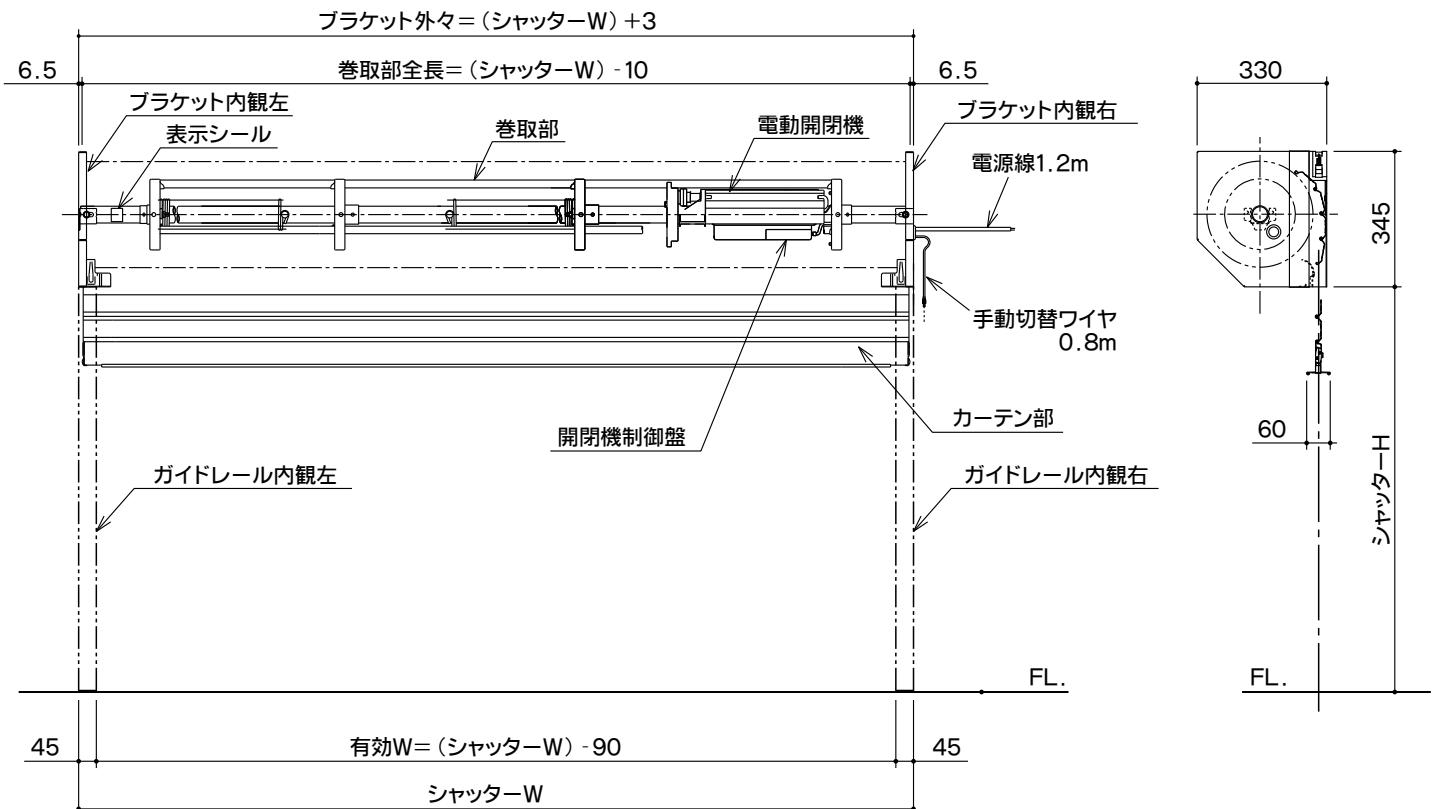
万全を期していますが、万が一ケガをされてはいけませんので必ず手袋を着用してください。



【9】故障、及びご使用において不都合な点が発生した場合は、ご遠慮なくお近くの販売店又は最寄の弊社営業所までご連絡ください。

3. 概観図・ガイドレール寸法図

【内観図】

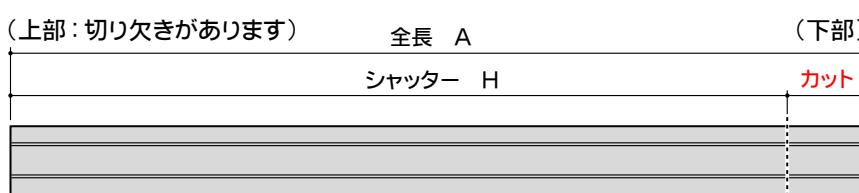


梱包番号	通常基礎仕様		スラット枚数	高基礎仕様としての使用範囲	
	シャッターW	シャッターH		シャッターH	注記
CS-R2691	2497	1998~2248	39	—	
CM-R2691	2497	2311~2561	44	2248~2398 ※1	CS-R2691の高基礎に適用
CL-R2691	2497	2698~2948	50	2561~2711 ※2	CM-R2691の高基礎に適用
CS-R3691	2847	1998~2248	39	—	
CM-R3691	2847	2311~2561	44	2248~2398 ※1	CS-R3691の高基礎に適用
CL-R3691	2847	2698~2948	50	2561~2711 ※2	CM-R3691の高基礎に適用
CS-R4691	3197	1998~2248	39	—	
CM-R4691	3197	2311~2561	44	2248~2398 ※1	CS-R4691の高基礎に適用
CL-R4691	3197	2698~2948	50	2561~2711 ※2	CM-R4691の高基礎に適用

※1. H=2311 以下では手動開閉時バランス不良の場合があります。但しスラット枚数は41枚に変更。
ガイドレールは、「ガレージ高さS高基礎タイプ」を使用します。

※2. H=2698 以下では手動操作時バランス不良の場合があります。但しスラット枚数は47枚に変更。
ガイドレールは、「ガレージ高さM高基礎タイプ」を使用します。

【ガイドレール寸法図】

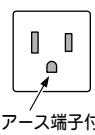


	最小H	最大H	全長A
ガレージ高さSタイプ	2020	2270	2320
ガレージ高さMタイプ	2333	2583	2620
ガレージ高さLタイプ	2720	2970	3020
ガレージ高さS高基礎タイプ	2270	2420	2620
ガレージ高さM高基礎タイプ	2583	2733	3020

ガイドレールを基礎・土間コンクリートに埋め込むと、後々のメンテナンスや修理に不都合が生じる場合があります。取付前に、ガイドレールをカットしてください。詳しくは、本体の組立説明書をご参照ください。

4. 電気供給について（電気工事業者の方へ）

①電 源 アース端子付 AC100V (UL規格のアース仕様)



②専用ブレーカーを設定して、メインブレーカーから直接取らない様にしてください。

③屋内配線から電源を取る場合は、既設ブレーカーの方が容量が大きいことを確認ください。

④屋外防水コンセントなどから電源を取る場合は、既設ブレーカーの方が容量が大きいことを確認ください。

⑤配線はφ1.6～2.0mmの平行線をご使用ください。

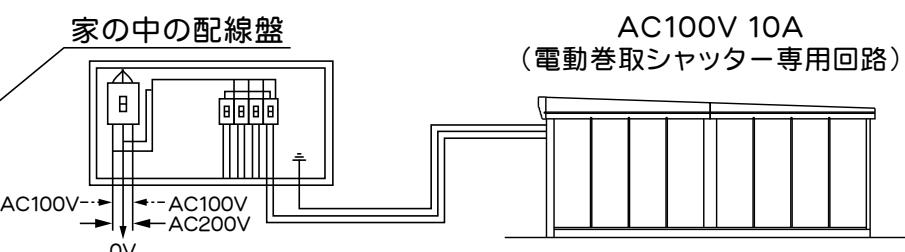
⑥消費電力 200W (ブレーカーは10A程度が目安) / 1台

電気供給図

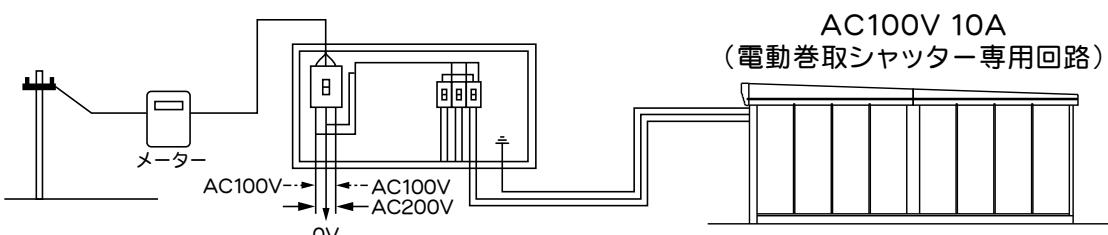


アースをガレージから取らないでください。

○家庭内メイン配線盤から取る場合



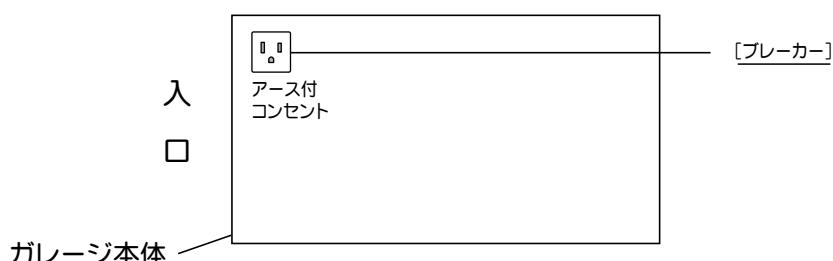
○電柱から直接取る場合



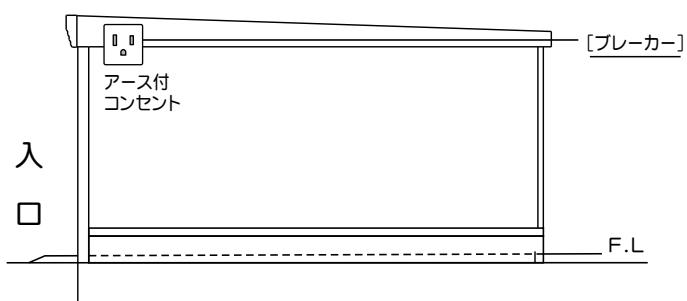
○ガレージ内配線

平面図

コンセントは、本体左前の上部付近に取り付けてください。



側面図



5-1. 電動巻取シャッターの取付け

使用部品

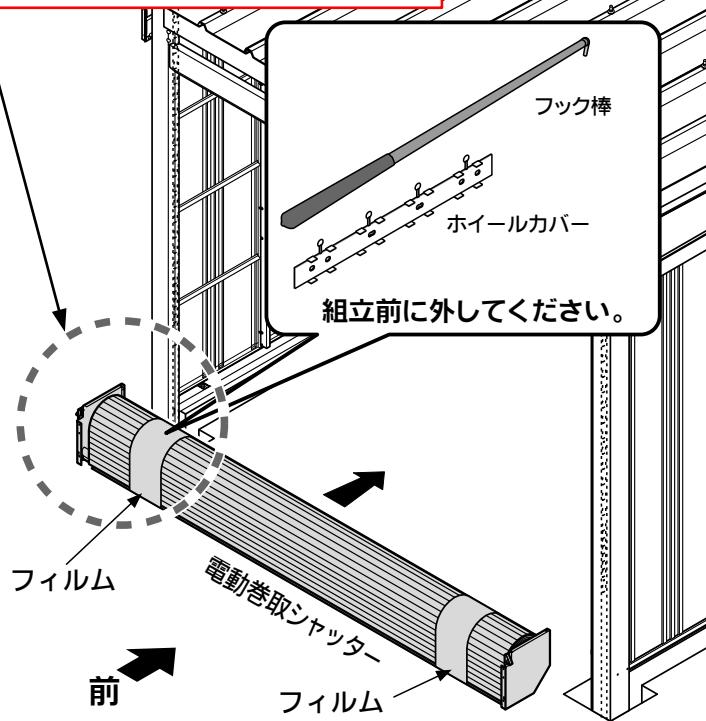
電動巻取シャッター 1

電動巻取シャッターは、正面から見て左側にモーターが内蔵されています。左側の方が重いので、ご注意ください。

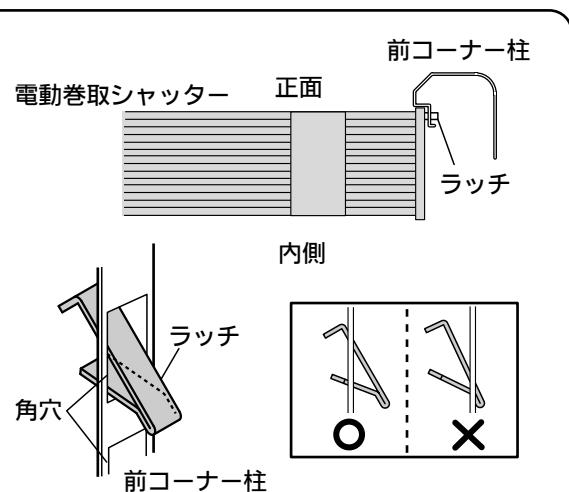
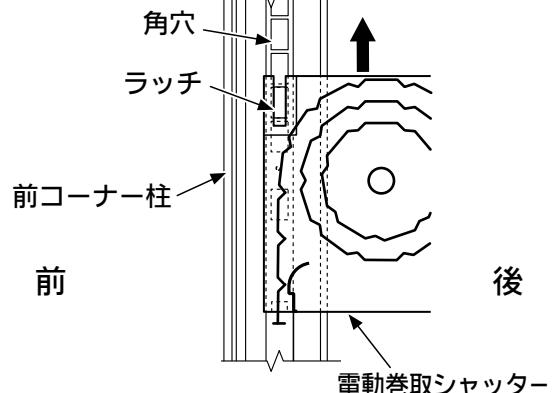


注意

- この作業は、必ず2人以上で行ってください。
- フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
- 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるフック棒とホイールカバーをはずしてください。
- シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具(P9参照)が取り付けてありますが、ここではまだはずさないでください。



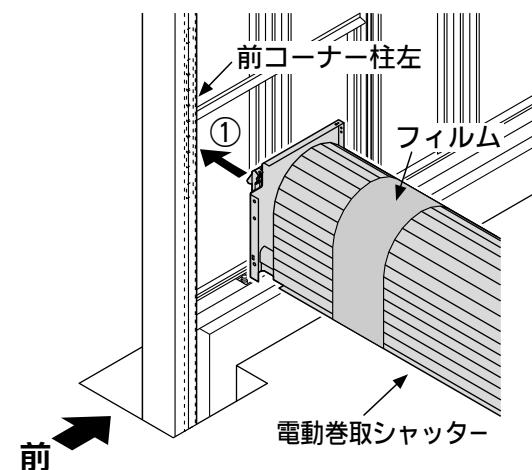
フィルム2ヶ所は、はがさないでください。



ラッチを角穴に引っかけた際に、ラッチが角穴に入りきっているか再度確認してください。

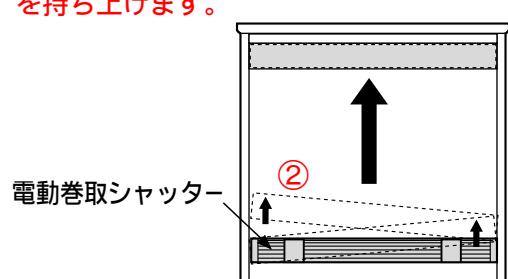


ラッチが角穴に入りきっていない場合、電動巻取シャッターを支えきれずに落下する危険性があります。

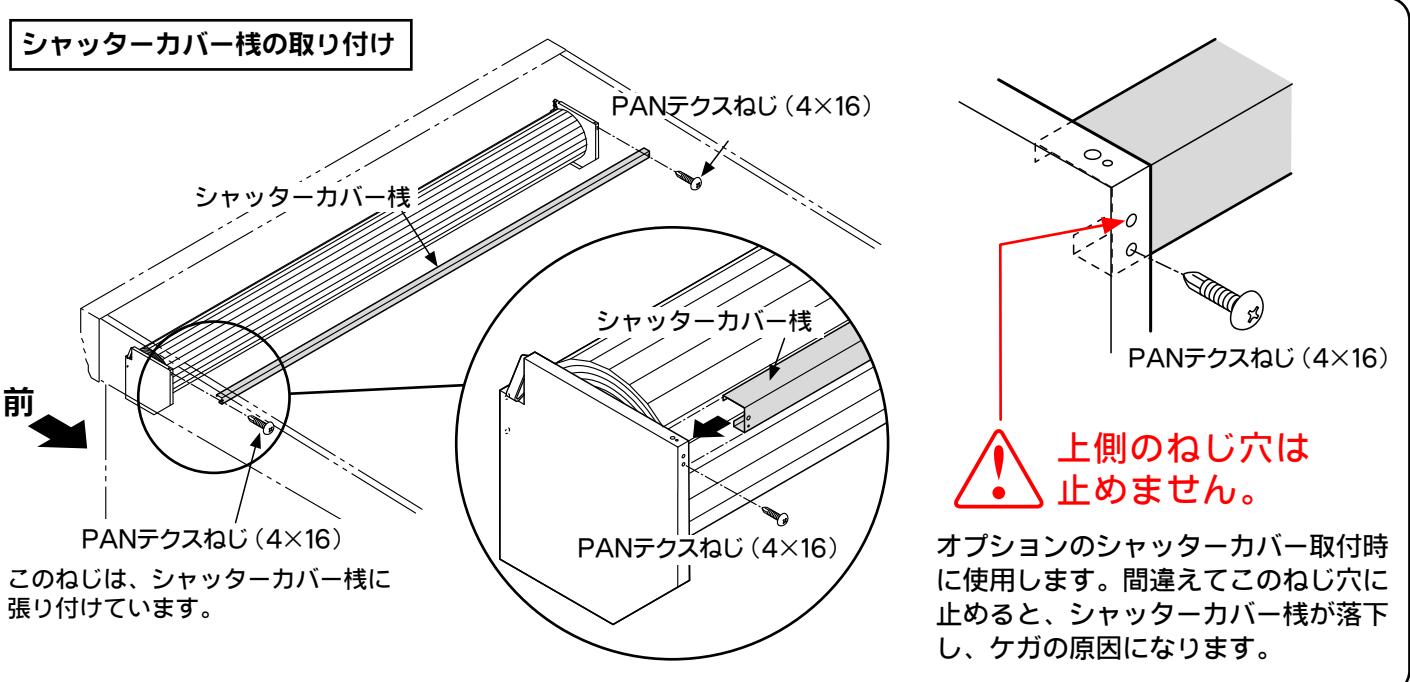
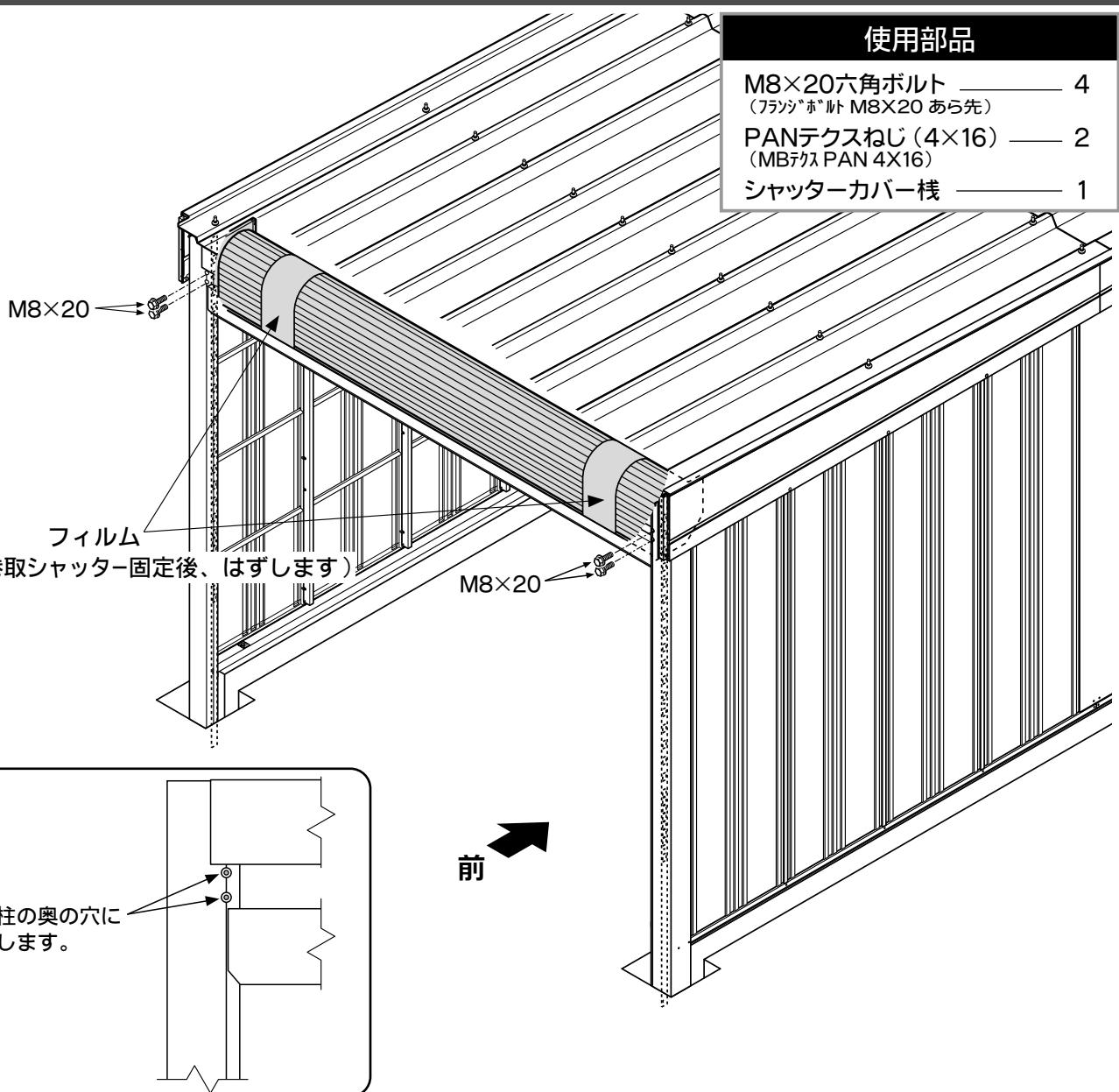


①電動巻取シャッター両側面のラッチを、前コーナー柱の下から3番目の角穴に引っかけます。

②左右交互に一段ずつ、電動巻取シャッターを持ち上げます。



5-2. 電動巻取シャッターの取付け



6. ガイドレール・ホイルカバーの取付け

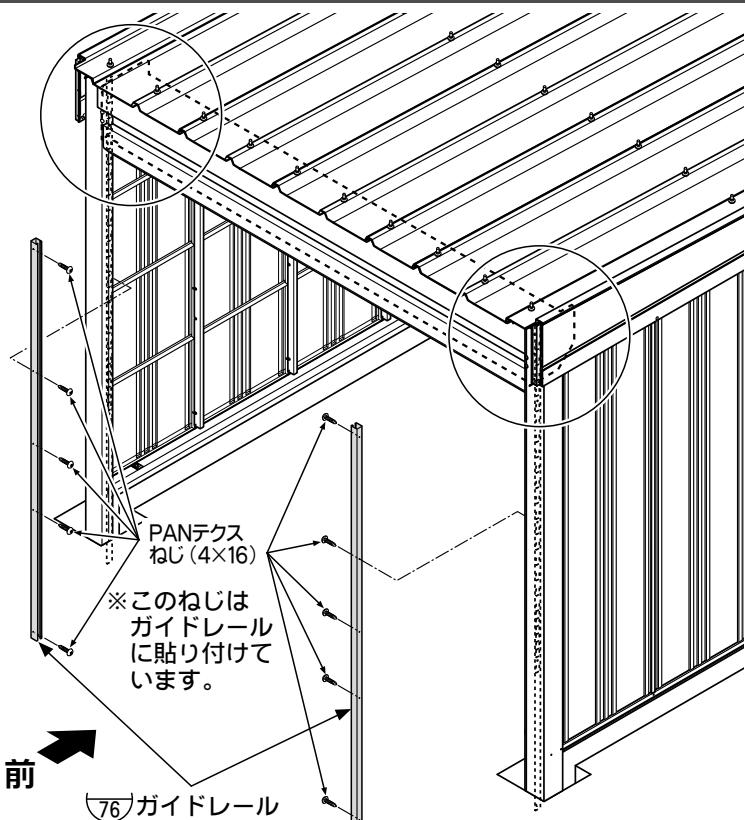
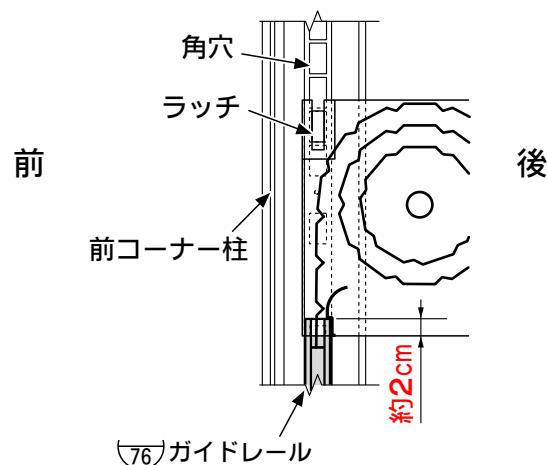
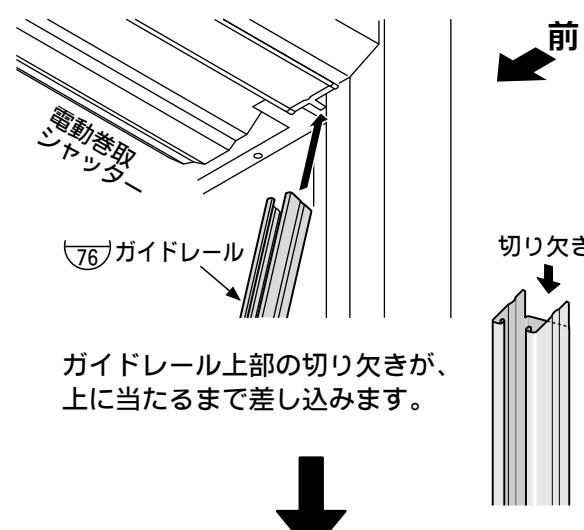
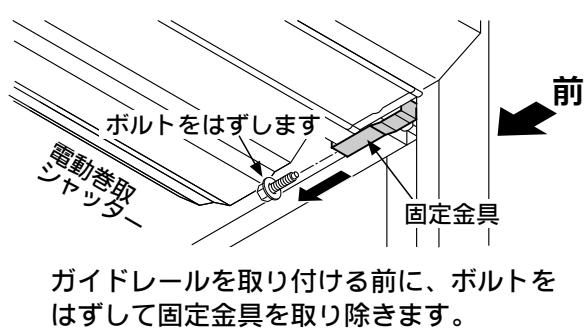
使用部品

76 ガイドレール	2
PANテクスねじ (4×16)	10 (MBテクス PAN 4X16)
テクスねじ先端キャップ	10
ホイルカバー	4

後々のメンテナンスや修理にそなえて、ガイドレールをカットしてください。詳しくは、本体の組立説明書をご参照ください。

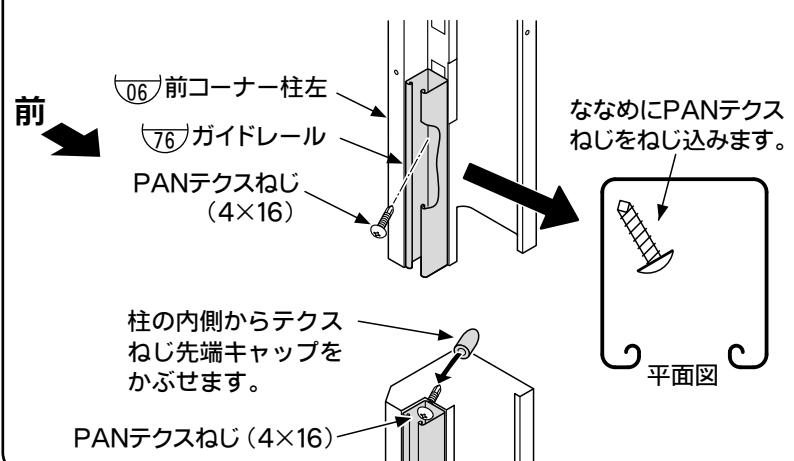
1

※下から見上げたイラストです。



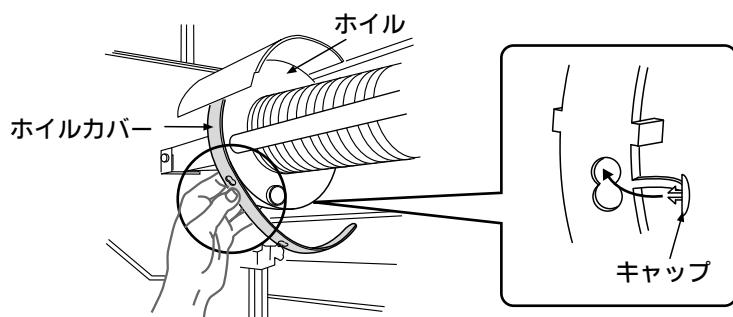
2

下穴はあいていません。PANテクスねじ（ねじ込むと鉄板に穴があきます）で、コーナー部に止め付けてください。
※インパクトドライバー使用



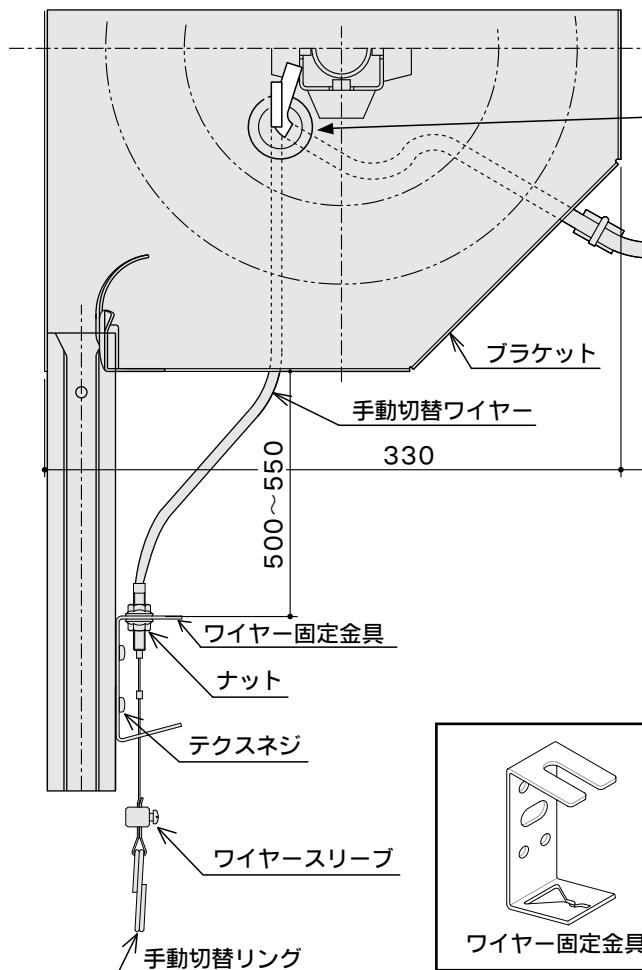
3

- ホイルカバーは、電動巻取シャッターを全部閉めた状態で取り付けます。
- ホイルとシャッターパネルの隙間が少なく、取り付けできない部分は切断します。
- ホイルカバーは、**4ヶ所とも同じ長さ**に切りそろえて取り付けてください。（左右のバランスが狂います）

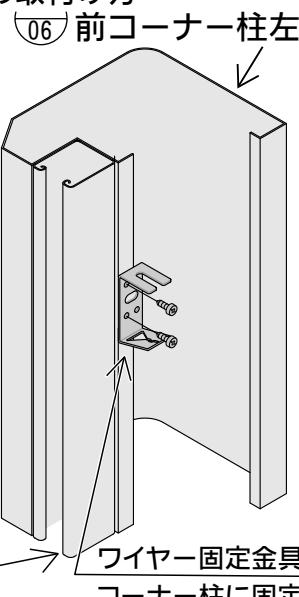


7. 電源の接続と手動切替ワイヤーの取付け

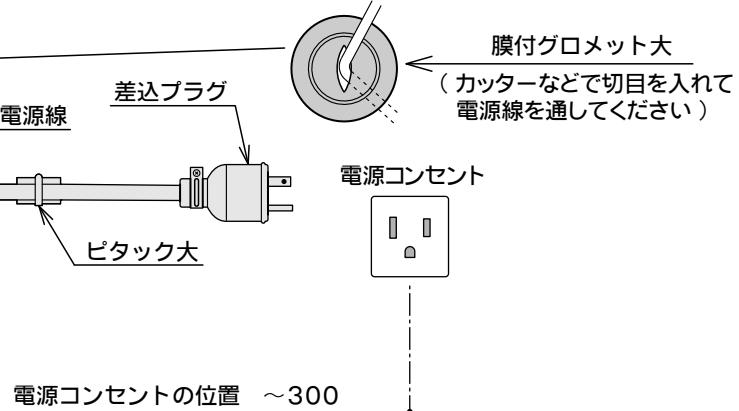
1. ブラケットの $\phi 25$ 穴に、膜付グロメット大をはめ込み、電源線を通します。
2. 電源線に差込プラグを取付けます。
3. 電源コンセントは、ブラケットから300mmを目処に設けてください。
4. ワイヤー固定金具は、PANテクスネジ(4×16)で前コーナー柱に固定してください。
5. 手動切替ワイヤーを、ワイヤー固定金具に取付けてください。
6. 手動切替ワイヤーの先に、下図の要領で手動切替リングを取付けます。
7. 反対側(内観左側)にも、膜付グロメット大をはめ込んでください。



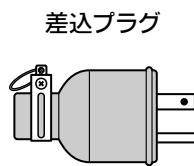
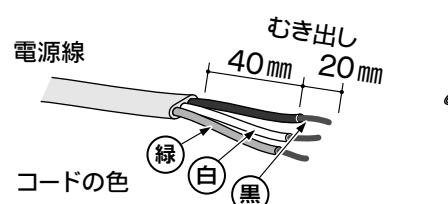
●ワイヤー固定金具の取付け方



使用部品	
ワイヤー固定金具	2
PANテクスねじ(4×16)	2
(MBテクス PAN 4X16)	
ワイヤースリーブ	1
手動切替リング	1
ピタック大	2
膜付グロメット大	2
(SG-24F 黒)	
差込プラグ	1
ナット	2
(ラジ"NT M6ツバ 大セレト無)	



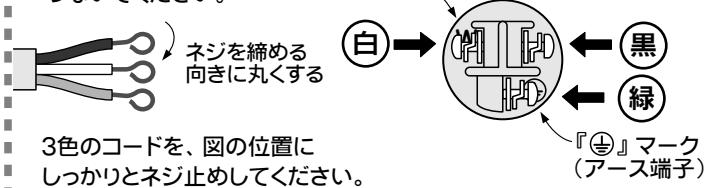
【電源線と差込プラグの結線】



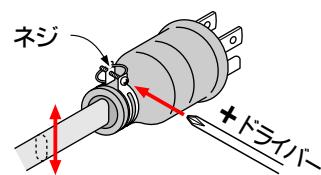
① 差込プラグのゴムキヤップをはずし、電源線に通してください。



② プラグ本体に電源線をつなぎでください。『W』マークの方向から見た図



③ ゴムキヤップをかぶせ、ネジを締めます。その時、締め付ける方向に対して、電源線がタテ向きになるように、しっかりと締め付けてください。

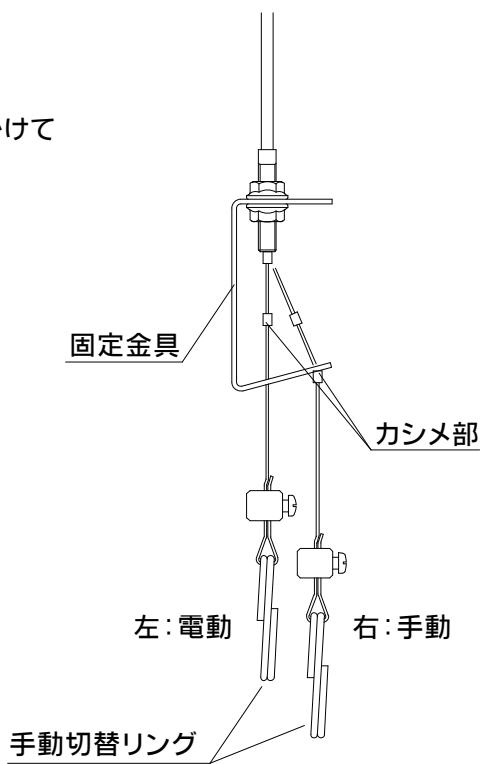
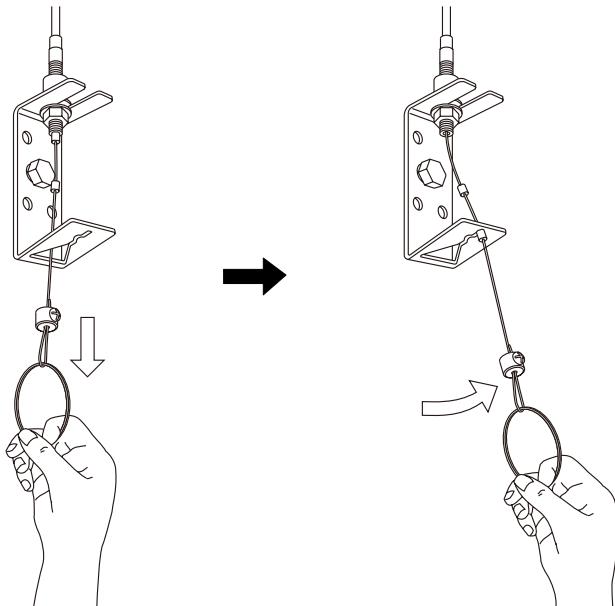


8. 手動・電動の切替え方法

手動切替リングを引っ張ってワイヤーのカシメ部の引っかける場所を移動することで切替えができます。

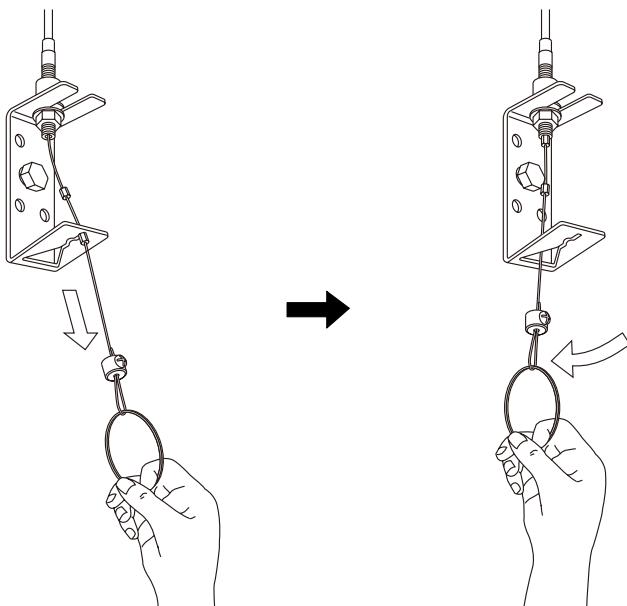
【電動 → 手動への切替え】

1. 手動切替リングを真下にゆっくりと引いてください。
2. ワイヤーの下側のカシメ部を大きい穴から細い穴へ移動させ、金具に引っかけて手を離してください。



【手動 → 電動への切替え】

1. 手動切替リングを真下にゆっくりと引いてください。
2. ワイヤーを細い穴から大きい穴へ移動させ、手を離してください。



※「手動」から「電動」へ切替えた後は、いちどシャッターを上限停止位置まで動かしてください。

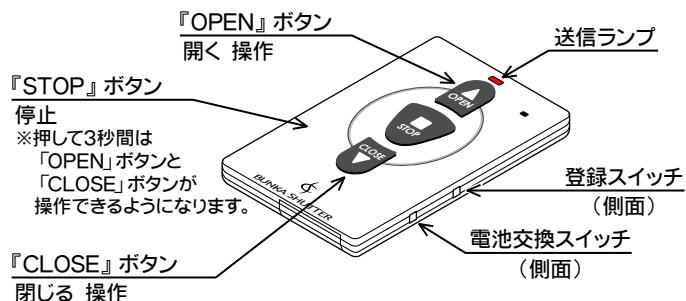
9. 上下限リミット（停止位置）の設定

手動確認

- 本体取付後、手動で数回開閉し「スラットの片寄り」「片下り」がないことをご確認ください。
不具合があれば調整してから、上下限リミット（停止位置）の設定を行ってください。

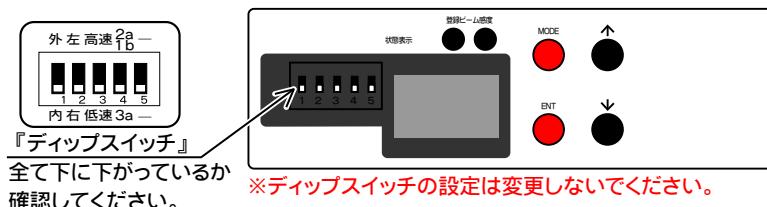
各部の名称

【リモコン送信機】



【電動開閉機】

(シャッターを閉めた状態で、真下から見上げた図です。)



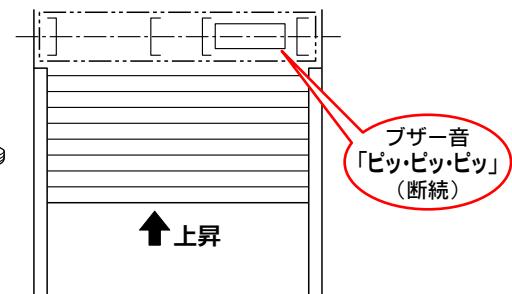
上下限リミット（停止位置）の設定

- 必ず、最初に上下限リミットの設定を行ってください。
- 上限リミットの設定までの操作を完了しないと、下限位置でも停止しませんのでご注意ください。
- 製品に同梱のリモコン送信機（登録済み2枚中1枚）を用意してください。

【初期設定をするときは】

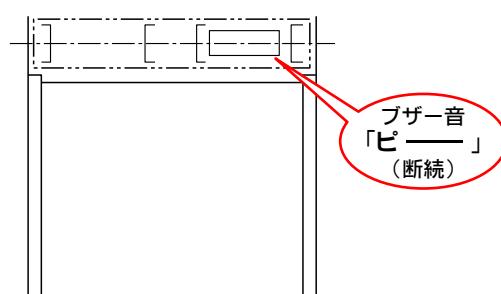
① シャッター上昇

『STOP』ボタンを押して3秒以内に『OPEN』ボタンを押してシャッターを開いてください。『STOP』一旦下がる動作をしたあと上昇します。



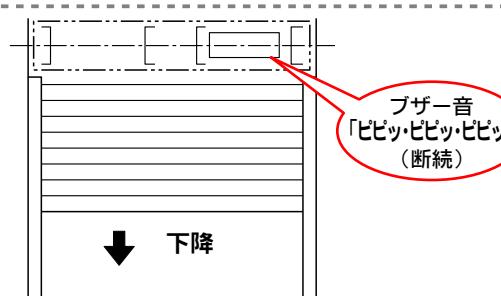
② 原点（上限）位置の設定

シャッターが自動で上昇して上限停止位置で巻き締めて自動で停止します。



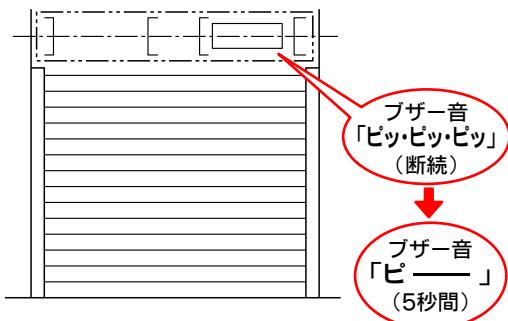
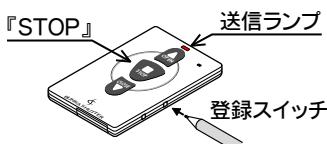
③ シャッターを閉める

シャッターが停止後、『STOP』ボタンを押して3秒以内に『CLOSE』ボタンを押してシャッターを下降させてください。



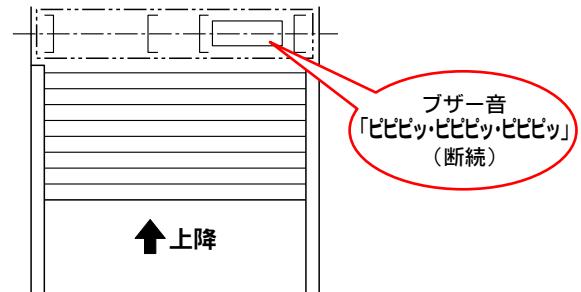
④ 下限位置の設定

『STOP』ボタンを押して下限に設定したい位置で、シャッターを停止させてください。
その後、『STOP』ボタンを押したまま『登録スイッチ』を送信ランプが点滅し、自動消灯するまで押してください。

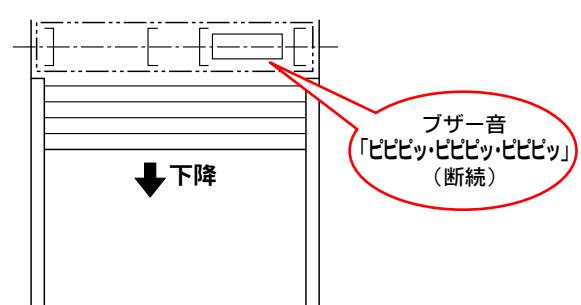


⑤ シャッター自動上昇（負荷感知学習動作）

シャッターが自動で上昇を始めます。

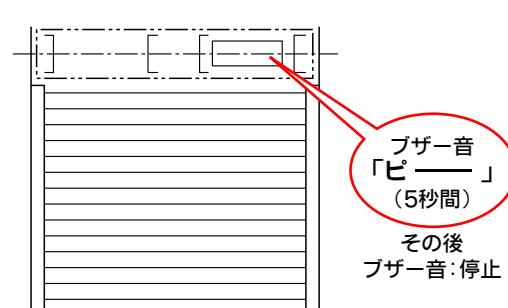


シャッターが自動で下降を始めます。



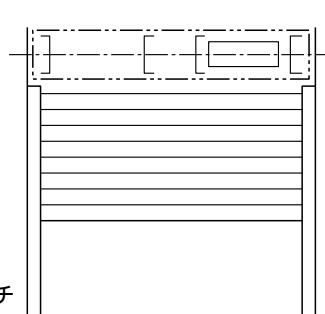
下限位置で自動的に停止し、ブザー音（5秒間）が鳴ります。

以上で、
上下限リミットの設定は完了です。



【再設定をするときは】

『STOP』ボタンを押したまま「登録スイッチ」を送信ランプが点滅するまで押してください。
点滅後は『STOP』ボタンを押して3秒以内に『OPEN』ボタンを押してシャッターを開いてください。
その後はP9②から順に進めてください。



【注意事項】

- ⑤～⑥自動上昇、自動下降の設定の際に、シャッターを停止させた場合は④下限位置の設定の状態に戻ります。
 - 設定モード中、3分間全く操作を行わずにシャッターを停止させていた場合、通常のモードに戻ります。
- 初回設定時は時間（3分間）の制限はありません。
- 設定が完了済みでディップスイッチ1～3の切替を行った場合、上限設定位置、負荷学習値（内部データ）はリセットされ、強制的にリミット設定（②シャッター上昇の状態）モードになります。

10. 障害物感知装置の動作確認とその他の操作方法

[障害物感知時の動作と注意]

(1) シャッター降下中

- 降下中に開閉機が負荷の変動を検出すると、シャッターは停止後2秒間ブザーが鳴りながら上昇し、停止します。
- 反転上昇停止時は、閉操作ができません。
→ その場合は、一度リモコン送信機の「STOP」ボタンを押して3秒以内に「OPEN」ボタンを押しシャッターを上昇させてください。

(2) シャッター上昇中

- 上昇中に開閉機が負荷を検出すると、シャッターは停止します。(停止後ブザーが2秒間鳴ります。)

(3) 負荷感知不能エリア

- 上限から約300mm降下するまでの間は、負荷を検出できません。
- 開閉操作開始から1秒間(モーターの回転が安定するまでの間)は、負荷感知機能は働きません。

[停電の場合]

- 停電しただけでは、上下限の停止位置は狂いません。
- 停電した場合でも、シャッターは設定された上下限停止位置を記憶しています。(但し、負荷検出の感度が落ちています。)
いちど電動で上限停止位置まで動かしてください。感度が戻ります。(※ブザーが鳴り注意を促します。)

[手動への切替え方]

- 出荷時点は、「電動」になっています。
- 手動切替リングを真下にゆっくり引っ張りワイヤの下側のカシメ部を大きい穴から細い穴へ移動させ、固定金具に引っかけてください。(P11参照)
- 通常は「電動」の状態にしておきます。停電など緊急の場合のみ「手動」に切替えてお使いください。

[手動操作を行った場合]

- 「手動」から「電動」へ切替えた後は、いちどシャッターを上限停止位置まで動かしてください。
シャッターが上限停止位置まで開くまでは『CLOSE』ボタンは一旦操作不能となります。
上限位置を検知後、通常モードへ復帰します。

[下限の停止位置を変える場合]

- 下限停止位置を変える場合は、[下限リミット(停止位置)の再設定]を行ってください。

[サーマルプロテクタの働き]

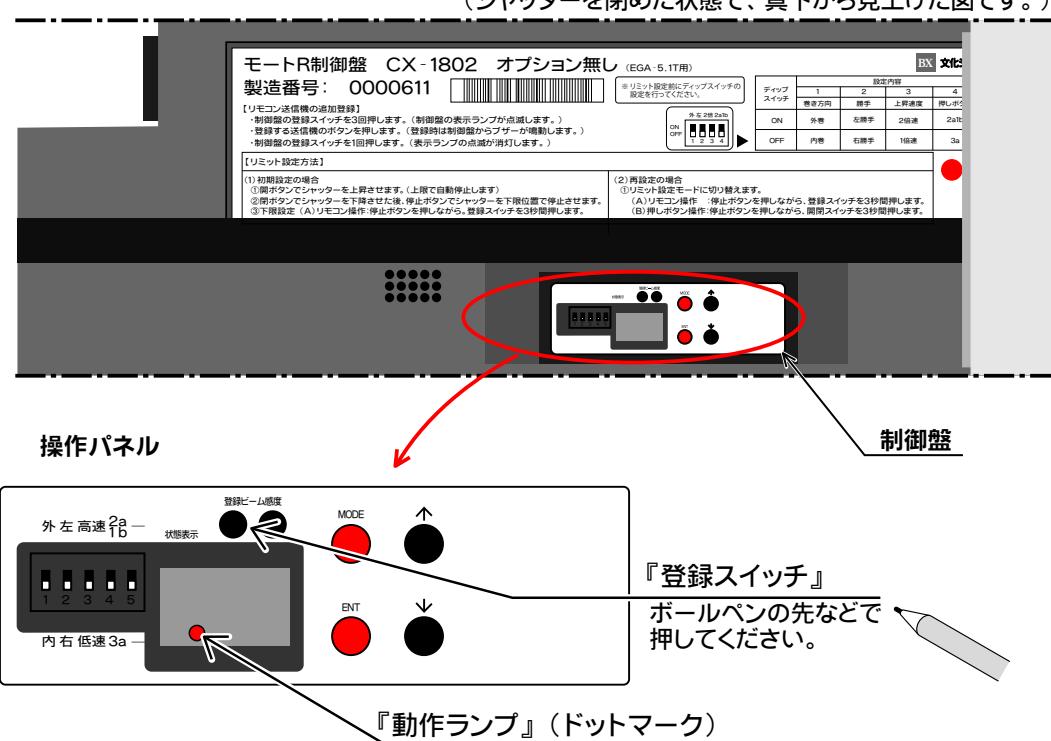
- 連続開閉などにより、モーターの温度が一定以上に上昇すると、サーマルプロテクタが働きモーターが止まります。
- サーマルプロテクタが作動するぎりぎりの温度でシャッターを開閉させた場合、まれに負荷感知動作で停止・反転上昇する場合があります。
- サーマルプロテクタは30分程度で自動復帰しますが、その間シャッターは電動での開閉はできません。

[スラットの巻き弛み、緩みに注意]

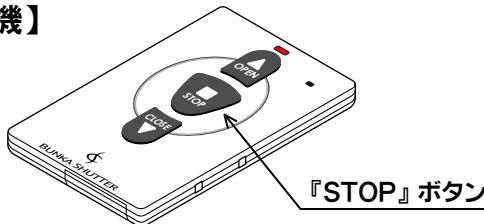
- スラットの巻き弛み、緩みや片寄りのある場合は、上下限リミット設定の前に手直ししてください。
障害物感知が正しく設定できない場合があります。
- 負荷感知が作動した場合も、スラットの巻き弛みを起こしていることがあります。
いちど下限停止位置まで動かして確認し、必要に応じて手直ししてください。

11.(オプション)リモコン送信機の追加登録

【電動開閉機】



【追加登録するリモコン送信機】



■ リモコン送信機の追加登録は、つぎの要領で行ってください。

- ① シャッター停止中に【制御盤】の「登録スイッチ」を、3回連続 押します。
動作ランプが「点滅」を始めます。
- ② 登録する【リモコン送信機】の「STOP」ボタンを押します。
動作ランプは、「3秒間 点滅」→「点灯」と変わります。
複数のリモコン送信機を登録する場合は、同様にして登録する
リモコン送信機の「STOP」ボタンを押します。(最大16台の登録が可能)
- ③ 【制御盤】の「登録スイッチ」を、1回 押します。
動作ランプが「消灯」し、登録完了です。

12. リモコン送信機（IDコード）の抹消方法

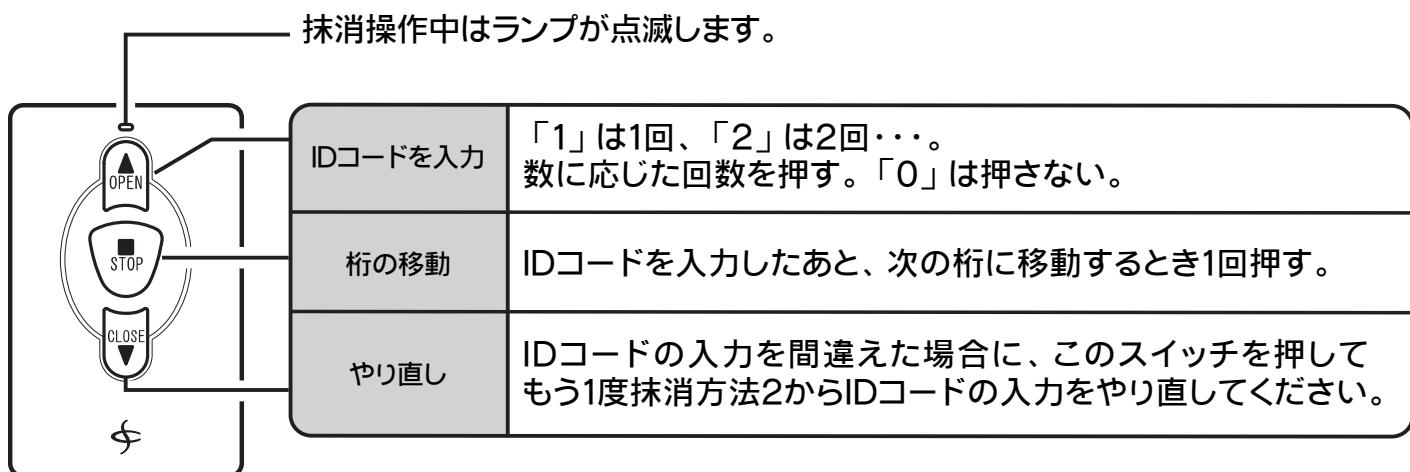
現在ご使用中のリモコン送信機を使って、リモコン送信機のIDコードを抹消します。



注意

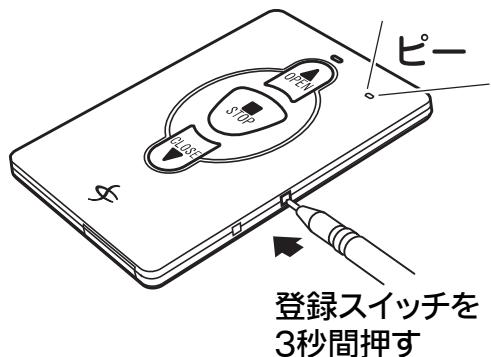
- リモコン送信機を盗難・紛失した場合は、このページの手順にしたがい紛失したリモコン送信機を使えないようにする必要がありますが、その際、紛失したリモコン送信機のIDコードが必要となります。
- リモコン送信機のIDコードの抹消作業は、シャッターの見えるところで行ってください。シャッターにリモコン送信機の電波が届かないところではできません。
- 抹消操作中のリモコン送信機からのシャッター操作は無効となります。
- 登録・抹消以外の目的で登録スイッチを操作しないでください。

IDコードを入力するときのスイッチの役割



- ① 現在ご使用中のスイッチの登録スイッチを3秒間長押しすると、ブザーが1秒間鳴ります。

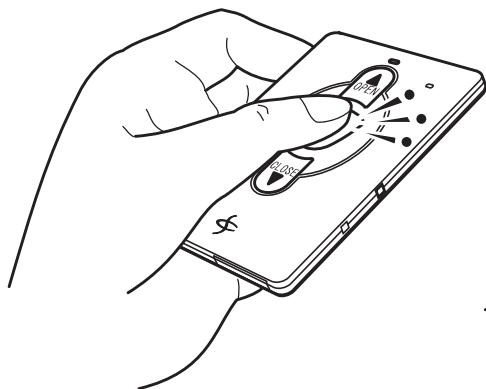
現在ご使用中のリモコン送信機



※登録スイッチを押してから1分以上何も操作しないと、抹消操作は無効となります。
抹消方法①からやり直してください。

② 抹消したいリモコン送信機の裏面に記載してあるIDコードを、現在ご使用中のリモコン送信機を使って下記の手順で入力します。

現在ご使用中のリモコン送信機



抹消したいリモコン送信機



入力回数を間違えた場合には、CLOSE (閉) スイッチを押してもう1度抹消方法②からIDコードの入力をやり直してください。

抹消を途中で中止したい場合には、1分以上リモコン送信機を操作しないでください。
(1分後に抹消操作が解除されてシャッター操作が可能になります)

(例) 抹消したいリモコン送信機のIDコードが「07650043」の場合

IDコード	0	➡	7	➡	6	➡	5	➡	0	➡	0	➡	4	➡	3	
スイッチの操作	何も押さない	を1回押す	を7回押す	を1回押す	を6回押す	を1回押す	を5回押す	を1回押す	何も押さない	を1回押す	を1回押す	を4回押す	を1回押す	を3回押す	を1回押す	を1回押す

③ 現在ご使用中のリモコン送信機の登録スイッチを1回押します。ブザーが1秒間鳴り、抹消が完了です。

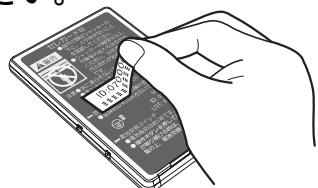
抹消したリモコン送信機がお手元にある場合は、抹消したリモコン送信機でシャッターの開閉をして動かないことを確認してください。シャッターが動く場合は、再度抹消方法1からやり直してください。

現在ご使用中のリモコン送信機



13. リモコン送信機（IDコード）の管理表

- リモコン送信機を紛失した場合、もしくは盗難された場合にリモコン送信機（IDコード）の登録を受信機から抹消する必要があります。リモコン送信機裏面のIDコードシールを下表に必ず貼り付けしてください。
(シールがない場合には、登録が抹消できない可能性がありますのでご了承願います)
- リモコン送信機裏面のIDコードシールを下表の「リモコン送信機ID」の欄へ貼り付けの上、リモコン送信機紛失時にIDコードが照合できるように下表へご記入ください。
- シールを紛失された場合には、リモコン送信機裏面のIDコードを「リモコン送信機ID」の欄へご記入ください。



シャッター1 (使用場所：)			シャッター2 (使用場所：)			シャッター3 (使用場所：)		
No.	リモコン送信機ID	使用者	No.	リモコン送信機ID	使用者	No.	リモコン送信機ID	使用者
1			1			1		
2			2			2		
3			3			3		
4			4			4		
5			5			5		
6			6			6		
7			7			7		
8			8			8		
9			9			9		
10			10			10		
11			11			11		
12			12			12		
13			13			13		
14			14			14		
15			15			15		
16			16			16		

リモコン送信機（IDコード）の管理表

シャッター1 (使用場所：)			シャッター2 (使用場所：)			シャッター3 (使用場所：)		
No.	リモコン送信機ID	使用者	No.	リモコン送信機ID	使用者	No.	リモコン送信機ID	使用者
1			1			1		
2			2			2		
3			3			3		
4			4			4		
5			5			5		
6			6			6		
7			7			7		
8			8			8		
9			9			9		
10			10			10		
11			11			11		
12			12			12		
13			13			13		
14			14			14		
15			15			15		
16			16			16		

14. 故障かなと思ったら

こんなときは	考えられる原因・対処法	参照ページ
リモコン送信機のボタンを押しても赤いランプが点灯しない	1. リモコン送信機の電池が消耗していませんか。 リモコン送信機の電池を交換してください。	P3
リモコン送信機のボタンを押してもモーターが動かない	1. シャッターの元電源（1次側電源）が切れていませんか。 シャッターの元電源（1次側電源）を入れてください。 2. 「手動」操作になつていませんか。 手動切替リングをゆっくり引っ張って「電源」側に切り替えてください。 「電源」側に切り替え後は、いちどシャッターを上限位置まで動かしてください。 3. 停電がありませんでしたか。 いちどシャッターを上限位置まで動かしてください。 4. シャッターが凍結していませんか。 シャッターの凍結を排除してから操作してください。 5. リモコン送信機のIDは登録されていますか。 リモコン送信機のIDを登録してください。	P10 P11 P14 P14 P15
新しいリモコン送信機を登録してもシャッターが動かない	1. リモコン送信機IDの登録個数が受信機の最大登録可能数（16個）を超えていませんか。 「現在の登録数」をご確認ください。	P15
リモコン送信機の「CLOSE」ボタンを押してもシャッターが下限位置まで下がらない	1. 障害物がはさまった状態になつていませんか。 障害物を取り除いてください。 2. 「手動」から「電動」へ戻したとき、シャッターを上限位置まで動かし忘れていませんか。 いちどシャッターを上限位置まで動かしてください。	P14 P11
シャッターがスムーズに動作しない 開閉時に異常音がする シャッターに大きな損傷がある	ただちに使用を止め、弊社営業所にご相談ください。	

●対処しても動かない場合または上記にあてはまらない場合は、弊社営業所にご相談ください。

この説明書はお客様が大切に保管してください。

【お客様へ】

このたびは、弊社のリモコンガレージをお買い上げいただき
まことにありがとうございました。
快適なカーライフのお役に立てれば幸いでございます。
もし、なにかご質問などございましたら
下記にご連絡お願い申し上げます。
今後とも、宜しくお願ひ申し上げます。

タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所（AM9:00～PM5:00）までお気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場	〒799-1392	愛媛県西条市北条962-7	0898(65)5000(代)
仙台営業所	〒983-0035	宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12	022(783)3360(代)
東京営業所	〒132-0001	東京都江戸川区新堀1丁目6-5	03(3698)2205(代)
埼玉営業所	〒362-0066	埼玉県上尾市大字領家91-1	048(783)0771(代)
横浜営業所	〒226-0028	横浜市緑区いぶき野31-14	045(984)1891(代)
名古屋営業所	〒485-0081	愛知県小牧市横内字下割子287-21	0568(74)5506(代)
大阪営業所	〒561-0891	大阪府豊中市走井3丁目1-2	06(6844)3300(代)
広島営業所	〒731-0231	広島市安佐北区亀山4-11-54	082(814)6690(代)
高松営業所	〒761-8075	香川県高松市多肥下町1529-8	087(865)1349(代)
松山営業所	〒790-0062	愛媛県松山市南江戸2丁目4-10	089(922)4300(代)
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付7丁目11-15	092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

[2025.07 Printed in Japan]